

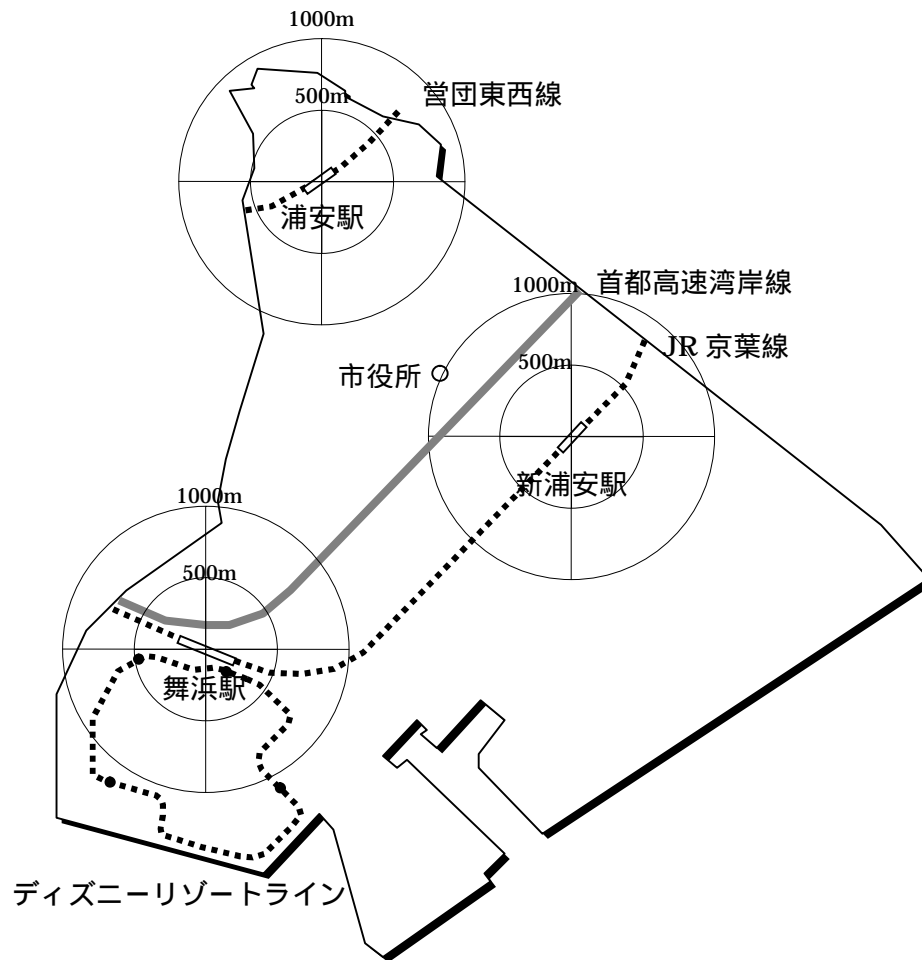
3 . 重点整備地区

1) 条件の整理

(1) 特定旅客施設の状況

配置

交通バリアフリー基本構想で中心施設となる特定旅客施設は、営団浦安駅、JR 新浦安駅、JR 舞浜駅の 3 駅、ディズニーリゾートラインの 4 駅が該当します。

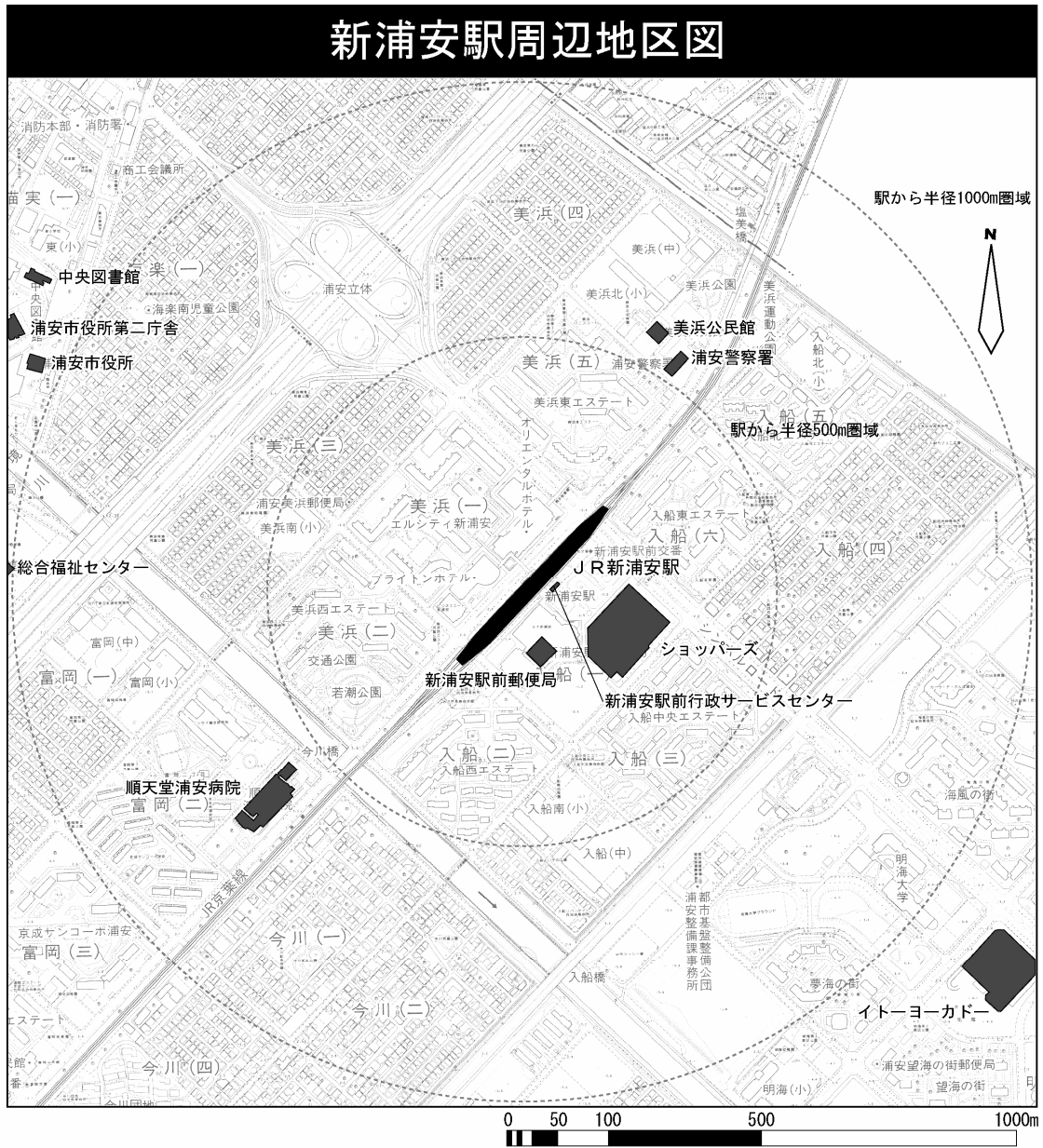


乗降客数

駅の乗降客数は、舞浜駅が最も多く次いで、新浦安駅、浦安駅の順となります。舞浜駅が最も多くなった理由として、平成 12 年のイクスピアリ開業、平成 13 年のディズニーシーの開業が影響しています。それ以前では新浦安駅の乗降客数が最も多くなっています。

新浦安駅周辺

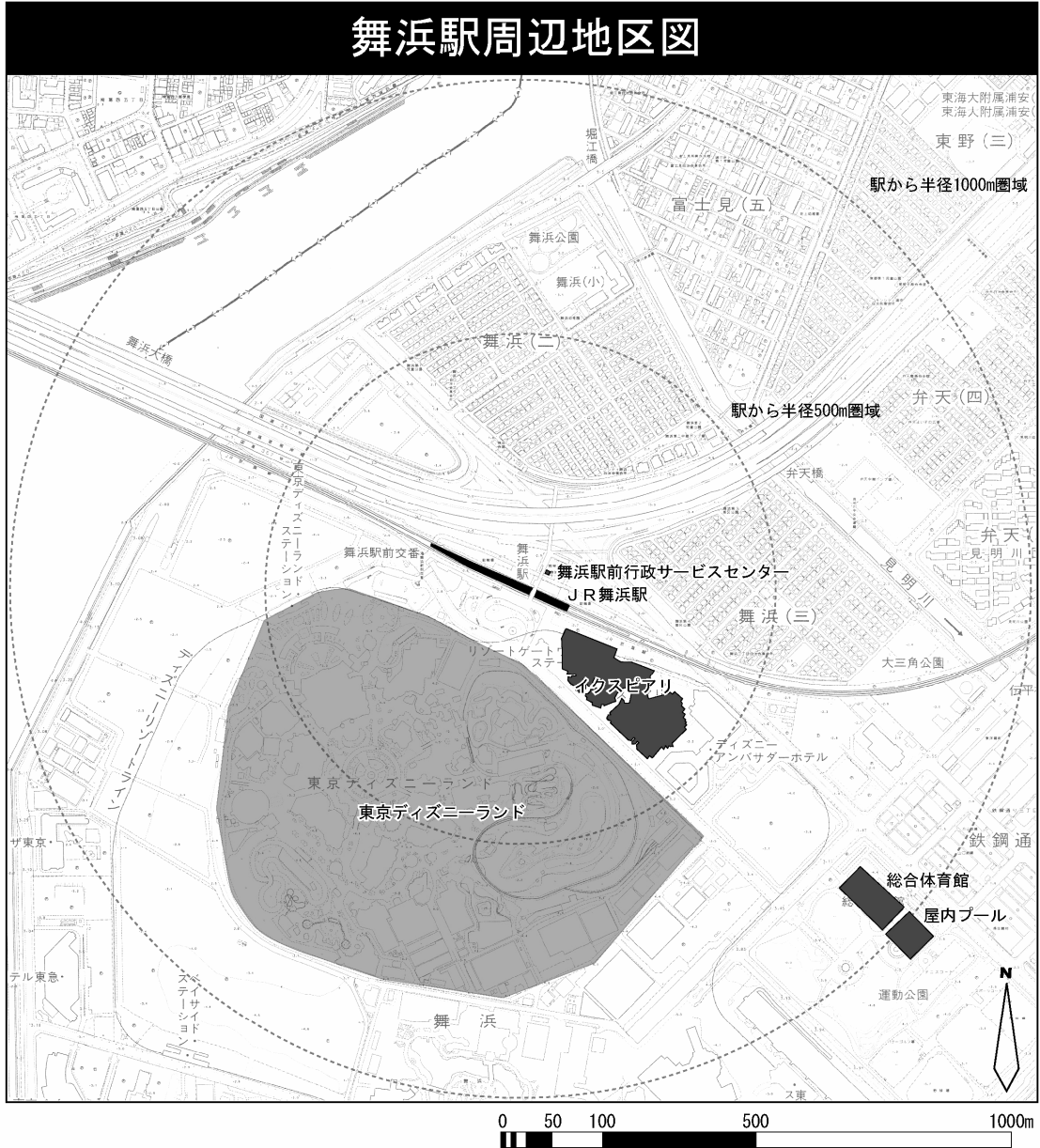
新浦安駅周辺には、ショッパーズ、順天堂浦安病院、美浜公民館、浦安警察署等があり、半径 1000m 圏域を超えますが、市民利用の多い浦安市役所や総合福祉センター、イトーヨーカドー等があります。



凡 例	
	主要施設

舞浜駅周辺

舞浜駅周辺にはイクスピアリや総合体育館、屋内プール等の主要施設があります。駅南側はほとんどがオリエントランドの用地となっています。



凡 例	
	主要施設

(2) アンケート及びヒアリング調査結果

調査の概要

a. 主要施設における聞き取りアンケート調査

調査方法：市内主要施設での聞き取り調査 浦安市川市民病院、中央公民館、当代島公民館、順天堂浦安病院、 美浜公民館、総合体育館、舞浜駅前行政サービスセンター前、 市役所、健康センター、老人福祉センター、子育て支援センター、図書館
配布部数：303部（同回収）
対象者：主に施設利用者（お年寄り、体の不自由な方、子連れの方を主に対象）
実施時期：平成14年9月27日及び10月2日

b. 障害者団体等へのヒアリング調査

調査内容：施設、駅、交通機関、道路の利用状況、不便点 施設の特性により3タイプのアンケート票を作成（基本事項は同じ）
調査方法：障害者担当部局の協力を得て市内障害者団体へヒアリングを実施
対象者及び実施時期
1. CIL 浦安ドリームセンター : 平成14年11月13日（水）14:00～
2. NPO パーソナルアシスタンスとも : 平成14年11月14日（木）10:30～
3. 千葉県中途失聴者・難聴者協会東葛南支部 浦安市聴覚障害者協会 : 平成14年11月14日（木）19:00～
4. 浦安市視覚障害者の会 : 平成14年11月15日（金）10:00～
5. 浦安市身体障害者福祉会 : 平成14年11月21日（木）19:00～

確認できた事項

a. 市民の駅利用状況（最寄り駅としての利用は除く）

駅の配置状況を考慮すると市民が鉄道を利用して他の駅（例えば浦安駅から新浦安駅等）へ行くことは考えにくく、聞き取りアンケート調査では、市民が駅周辺の施設を利用する場合、自宅から直接徒歩か自転車、バス、自家用車などを利用しているケースがほとんどでした。

b. 公共施設の配置と鉄道駅の関係

主要な公共施設は市役所を中心とするシビックセンター地区（老人福祉センター、健康センター等）に集中しており、アンケート調査結果では、駅から来訪した市民はいませんでした。ほとんどが徒歩やおさんぽバス等を利用しており、公共施設は駅との関係が希薄であることがわかりました。なお、新浦安駅から市役所は半径約1km程度の圏域でありませんが、ヒアリングで新浦安駅から境川沿いを通り来訪していることが確認できました。

c. 各駅周辺の施設の状況

浦安駅及び新浦安駅周辺には、大規模店舗、総合病院等があり、目的施設となる施設が比較的多く立地しています。特に新浦安駅の南口にはショッパーズ、イトーヨーカドーがあり、アンケート結果からもこの2つの施設はより多く利用されています。舞浜駅周辺は南口がディズニーリゾート、北口が住宅街であり、目的となる施設は総合体育館（屋内プール）以外はありません。

[駅周辺の市民利用施設]

地区名	アンケートの結果	
	徒歩圏内の市民利用施設	
	実数	施設名
浦安	251	西友（103人）、中央公民館（36人）、浦安魚市場（25人）、当代島公民館（25人） 他
新浦安	457	ショッパーズ（151人）、イトーヨーカドー（106人）、市役所（67人）、順天堂浦安病院（50人） 他
舞浜	164	イクスピアリ（78人）、総合体育館〔屋内プール〕（74人） 他

(3) 各駅及び各駅周辺のバリアフリー化の状況

浦安駅及び駅周辺

浦安駅は、エレベーターが設置され、基本的なバリアフリー化は完了しており、聞き取りアンケートの結果でも、「エレベーターができたので特に不便はない」と回答した人が多く、特に不便点がないこともヒアリングで確認できました。

駅周辺は、昔からの市街地であり、歩道が狭い箇所、ない箇所があり、これに関する指摘が多くありました。しかし、都市構造の大幅な改良を行わなければ、この問題を解消することは難しい状況です。

新浦安駅及び駅周辺

新浦安駅はエレベーターが設置されていないことへの不便点が指摘され、また、改札階と地上を結ぶ垂直移動に利用されるスロープが急であるなど、ヒアリングで指摘されました。

駅周辺は、区画道路が整備され、広い歩道が確保されるなど、一見、バリアフリー化が完了していると思われそうですが、ヒアリングでは、駅前広場の舗装、ベンチの形状、歩道の段差など、多くの点が指摘されました。

舞浜駅及び駅周辺

舞浜駅についてはエレベーターが完備されていることもあり不便点は指摘されませんでした。

駅北口には歩道橋が設置されており、エレベーター等が設置されていませんが、特に不便点は指摘されませんでした。また南口はディズニーリゾートに面していることから、

バリアフリー化が進んでおり、ペDESTリアンデッキ上には改札階から地上までのエレベーターも設置されているため、アンケート及びヒアリングでは問題点等は指摘されませんでした。

ディズニーリゾートライン各駅及び駅周辺

駅はすべてバリアフリー化され、駅周辺についてもリゾート開発に伴い一体的整備が実施されたことから、駅から目的施設までの一体的なバリアフリー化整備は実施されていません。

2) 基本構想の可能性

交通バリアフリー法の要件と浦安市の現況を対比させると、特定旅客施設には全ての駅が合致しますが、市民が駅周辺の施設を利用するときには駅をほとんど利用しないということが大きく異なる点となります。

しかし、これまでのヒアリングやアンケートからも、駅と駅周辺のバリアフリーに関する問題点が指摘されており、早急に取り組まなければならない課題であります。

(1) 各駅及び駅周辺の基本構想策定の必要性

浦安駅周辺

浦安駅周辺には、駅を利用して来訪する可能性のある市民病院がありますが、実際には駅から徒歩で利用する市民はほとんどいません。

駅は既にバリアフリー化されていますが、駅周辺は歩道が狭いなど都市構造上の問題点があります。しかし、交通バリアフリー法の道路の構造基準に従いバリアフリー化を実施する場合、歩道有効幅員 2.0m の確保等の条件があり、都市構造の大幅な改変(用地買収等)が必要となります。そのため、平成 22 年までの事業実施が求められる基本構想では実施が非常に困難であります。ただし、まちのバリアフリー化の必要性は非常に高い状況です。

新浦安駅周辺

新浦安駅周辺には、アンケートの結果から市民がよく利用すると答えた、ショッパーズやイトーヨーカドーがあり、比較的よく利用すると答えた順天堂浦安病院も徒歩圏に立地しています。順天堂浦安病院で行った聞き取りアンケート調査では、鉄道駅を利用して来訪した人が含まれていました。市役所が 3 駅中唯一徒歩圏域に入っており、ヒアリングでも徒歩で来訪している人が確認できました。

また、新浦安駅前広場にはおさんぽバスの発着点があり、交通結節点の性格も持っています。おさんぽバスは浦安市の南北を結ぶ交通手段であり、市内の移動は鉄道よりもこのおさんぽバスがよく利用されていることが、ヒアリングなどでも明らかになっています。このおさんぽバスが起点となり移動が発生することも考えられ、駅との結節性の強化、駅前広場から施設までの経路の移動円滑化が求められます。

新浦安駅は、3 駅の中で唯一エレベーター(設置予定)がなく、また改札外のスロープも勾配が急であり、ヒアリングでは多くの問題点が指摘されました。3 駅の中でバリアフリー化の必要性が最も強調された駅です。

駅周辺は一見整備が整っているようですが、ヒアリングで問題点も多く指摘され、都市構造そのものの改変は必要ありませんが、小規模なバリアフリー改良の必要性が高いといえ、短期間でバリアフリー化を実現する基本構想策定は効果があるといえます。

舞浜駅周辺

舞浜駅は、まず駅周辺に徒歩で利用する市民利用施設がないこと、また駅も既にバリアフリー化されており、重点的かつ一体的な移動円滑化を実施する必要性は低く、基本構想策定の必要性は低いといえます。

ディズニーリゾートライン各駅周辺

目的施設がリゾート施設に限定され、そこまでに至る経路もバリアフリー化されていることから、基本構想策定の必要性は最も低いといえます。

(2) 基本構想の時間的制約と法を取り巻く状況

基本構想を策定する場合、平成 15 年度に基本構想策定、平成 16 年度に特定事業計画の作成を経て、平成 17 年度から実質の事業がスタートされることになると考えられます。そのため、事業実施期間は、実質、6 年しかありません。

また、交通バリアフリー法は、法施行後 5 年を経過した後（平成 17 年以降）に見直しが見込まれており、年限の設定の変更や新たに追加される交通手段なども予想されます。

よって、現行法で短期間で対応すべきことと、法改正に伴い柔軟に対応することも考えなければなりません。

(3) 重点整備地区の設定の考え方

法律で目標とされた年限と、今後の法改正を考慮すると、重点整備地区を設定するためには、2 段階で考える必要があると思われます。

現行法に基づき、特に緊急性が高く早期実現が図られる地区を重点整備地区と定め、浦安市におけるバリアフリー化のモデル地区と位置づけ、重点的に実施する。法改正をにらみつつ、関連する事業進捗状況を見据え、他地区についても重点整備地区の可能性を検証し、段階的にバリアフリー化整備の方向性を検討する。

3) 重点整備地区の設定

以上のことを考慮すると、早急に重点整備地区を定め、基本構想を定める必要性の高い地区は「**新浦安駅周辺地区**」となります。

以下に理由を示します。

市役所、総合福祉センターが徒歩圏域に立地

市民利用施設が多数立地（ショッピング、イトーヨーカドー、順天堂浦安病院等）

新浦安駅のバリアフリー化（エレベーター設置等）の必要性が高い

駅周辺もバリアフリー化整備（改札階-地上間の垂直移動の移動円滑化、舗装の改良、段差解消等）の必要性が高い

他地区に比べ平成 22 年までの事業実現性が高く、効果的な整備が可能

市民がよく利用するおさんぼバス等が駅前広場に乗り入れており、交通結節点としての機能強化の必要性が高い

浦安駅周辺地区、シビックセンター地区とはおさんぼバス、路線バスで結ばれ、舞浜駅地区とは京葉線で結ばれているため、他地区との連続性があり、バリアフリー化の効果（全体への波及効果）が高い

新浦安駅周辺は、舞浜駅から京葉線を利用した市民の来訪が考えられること、また、おさんぼバス、路線バスで駅前広場まで市民が来訪することが考えられることから、駅及び駅前広場を起点とした移動の発生が考えられます。駅及び駅前広場から目的施設までの移動経路の円滑化を目標とする基本構想策定は効果があるものと考えられます。

よって、基本構想を策定する重点整備地区を、

「新浦安駅周辺地区」

と選定します。

なお、浦安駅及び舞浜駅、ディズニーリゾートライン各駅の基本構想については、新浦安駅周辺をモデルケースに今後も検討を重ねてまいります。